

ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」

平成 18 年 11 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結） 平成 18 年 10 月 6 日

会社名 株式会社エスプール (コード番号：2471 (S)G)

(URL <http://www.spool.co.jp/>)

問合せ先 代表者 代表取締役会長兼社長 浦上 壮平 (TEL：(03) 3517-6633(代))

責任者 執行役員管理本部長 佐藤 英朗

1 四半期財務・業績の概況の作成等に係る事項

- ① 最近連結会計年度からの会計処理の方法の 変更の有無 : 無
- ② 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有
・連結（新規） 1社（除外） 1社 持分法（新規） 1社（除外） 1社
- ③ 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2 平成 18 年 11 月期第 3 四半期の財務・業績概況（平成 17 年 12 月 1 日 ～ 平成 18 年 8 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 11 月期第 3 四半期	3,635	(4.7)	135	(73.2)	121	(33.2)	72	(36.0)
17 年 11 月期第 3 四半期	3,472	(—)	78	(—)	91	(—)	53	(—)
(参考)17 年 11 月期	4,751		156		172		104	

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 11 月期第 3 四半期	2,806	87	2,679	24
17 年 11 月期第 3 四半期	2,248	66	—	—
(参考)17 年 11 月期	4,427	39	—	—

(注)当社は、平成 17 年 11 月期第 3 四半期から四半期財務諸表を作成しているため、平成 17 年 11 月期第 3 四半期の対前年同四半期比増減率は記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期連結会計期間（17 年 12 月 1 日～18 年 8 月 31 日）におけるわが国経済は、原油高等の不透明感に残るものの、全般的には底堅く推移しております。雇用情勢においても、昨年来の回復傾向が続いており、当社グループの中核事業が属する人材アウトソーシング業界には追い風となっております。このような環境の下、当社グループでは業容拡大を進めるべく、首都圏を中心に 5 支店の新規出店と営業機能強化のために八重洲事業所の開設を行いました。損益面では、売上総利益率の改善が進んだものの、新規上場に係る費用が 26 百万円発生しております。

これらの結果、当第 3 四半期連結会計期間の売上高は 3,635 百万円（前年同期比 4.7%増）、営業利益は 135 百万円（前年同期比 73.2%増）、経常利益は 121 百万円（前年同期比 33.2%増）となりました。事業セグメントごとの売上高は下表のとおりです。

	総合人材アウトソーシング事業	モバイル・マーケティング事業	その他事業	セグメント間の売上高消去	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
18 年 11 月期第 3 四半期	3,255	182	203	△5	3,635
17 年 11 月期第 3 四半期	2,936	148	390	△2	3,472
(参考)17 年 11 月期	4,043	191	518	△3	4,751

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年11月期第3四半期	1,673	1,278	76.4	47,714 79
17年11月期第3四半期	1,188	725	61.0	30,747 89
(参考)17年11月期	1,260	776	61.6	32,926 62

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年11月期第3四半期	△59	△42	429	813
17年11月期第3四半期	△10	△25	55	395
(参考)17年11月期	142	△21	△12	484

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

①財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から413百万円増加し、1,673百万円となりました。これは、平成18年2月の上場に伴う公募増資による現預金の増加、新規出店による敷金保証金の増加、売上増加による売上債権の増加等が主要因であります。

総負債は、前連結会計年度末から89百万円減少し、391百万円となりました。未払賞与の支払等による未払費用の減少や消費税の納付等が主要因であります。

資本合計は、前述の上場に伴う公募増資により502百万円増の1,281百万円となっています。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比14.8ポイント増の76.4%、有利子負債自己資本比率は3.0ポイント低下して4.7%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、59百万円の支出となりました。税金等調整前第3四半期純利益や減価償却費等の資金増加要因を、法人税等の支払や売上債権の増加、未払費用の減少等の資金減少要因が上回りました。

当第3四半期連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、42百万円の支出となりました。これは、主に新規に開設した拠点の敷金及び保証金の差入や什器備品の購入によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、429百万円の収入となりました。これは、主に平成18年2月の上場に伴う公募増資によるものであります。

3 平成18年11月期の連結業績予想（平成17年12月1日～平成18年11月30日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	5,541	252	139

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 5,223円23銭

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点においては、平成18年7月7日に発表いたしました平成18年11月期の連結業績予想について変更はありません。

(注) 上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上

(添付資料)

【四半期連結財務諸表等】

四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年11月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年11月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年11月期
	金額	金額	金額	増減	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	813,423	395,746	417,676	105.5	484,893
2 受取手形及び売掛金	558,550	528,574	29,976	5.7	511,393
3 たな卸資産	483	1,260	△776	△61.6	323
4 その他	61,628	60,612	1,015	1.7	64,199
5 貸倒引当金	△2,827	△6,154	3,326	△54.1	△3,265
流動資産合計	1,431,258	980,038	451,219	46.0	1,057,544
II 固定資産					
1 有形固定資産	41,245	31,848	9,396	29.5	29,688
2 無形固定資産					
(1) ソフトウェア	57,938	72,667	△14,728	△20.3	69,565
(2) その他	257	257	-	-	257
無形固定資産合計	58,195	72,924	△14,728	△20.2	69,822
3 投資その他の資産					
(1) 敷金及び保証金	104,855	77,560	27,294	35.2	77,416
(2) その他	37,928	25,974	11,954	46.0	25,885
投資その他の資産 合計	142,784	103,535	39,249	37.9	103,302
固定資産合計	242,225	208,308	33,916	16.3	202,813
資産合計	1,673,483	1,188,347	485,136	40.8	1,260,357

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年11月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年11月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年11月期
	金額	金額	金額	増減	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金	15,781	12,086	3,695	30.6	8,779
2 短期借入金	60,000	130,000	△70,000	△53.9	60,000
3 未払費用	171,819	178,743	△6,923	△3.9	207,315
4 賞与引当金	16,885	14,679	2,205	15.0	10,945
5 その他	127,383	127,803	△419	△0.3	194,474
流動負債合計	391,870	463,312	△71,441	△15.4	481,514
負債合計	391,870	463,312	△71,441	△15.4	481,514
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	-	-	-	2,432
(資本の部)					
I 資本金	-	393,000	-	-	393,000
II 資本剰余金	-	207,200	-	-	207,200
III 利益剰余金	-	124,835	-	-	176,209
資本合計	-	725,035	-	-	776,409
負債、少数株主持分 及び資本合計	-	1,188,347	-	-	1,260,357
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	584,730				
資本剰余金	465,671				
利益剰余金	228,259				
株主資本合計	1,278,660				
II 新株予約権	50				
III 少数株主持分	2,902				
純資産合計	1,281,613				
負債及び純資産合計	1,673,483				

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年11月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年11月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成17年11月期
	金額	金額	金額	増減	金額
I 売上高	3,635,425	3,472,650	162,774	4.7	4,751,162
II 売上原価	2,613,678	2,569,262	44,416	1.7	3,513,845
売上総利益	1,021,746	903,388	118,358	13.1	1,237,316
III 販売費及び一般管理費	886,247	825,158	61,088	7.4	1,081,139
営業利益	135,498	78,229	57,269	73.2	156,177
IV 営業外収益	14,220	15,168	△948	△6.3	20,503
1 受取利息	272	248	23	9.5	435
2 持分法による投資利益	13,464	14,457	△993	△6.9	19,588
3 その他	483	462	21	4.6	480
V 営業外費用	27,739	1,846	25,892	1,401.9	4,629
1 支払利息	662	744	△82	△11.0	1,056
2 コミットメント・フィー	674	693	△18	△2.7	918
3 新株発行費	8,991	-	8,991	-	-
4 公開準備費用	17,303	395	16,907	4,272.8	2,563
5 その他	107	12	94	740.9	90
経常利益	121,979	91,550	30,428	33.2	172,051
VI 特別利益	438	-	438	-	2,558
1 貸倒引当金戻入益	438	-	438	-	2,558
VII 特別損失	1,714	1,574	139	8.9	2,185
1 固定資産除却損	1,714	1,574	139	8.9	1,613
2 持分変動による みなし売却損	-	-	-	-	572
税金等調整前 第3四半期(当期)純利益	120,703	89,976	30,726	34.2	172,424
税金費用	48,140	36,953	11,187	30.3	68,026
少数株主利益	469	-	469	-	-
第3四半期(当期)純利益	72,092	53,023	19,069	36.0	104,397

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結剰余金計算書

(単位：千円、%)

	前年同四半期 (平成17年11月期 第3四半期)	(参考) 平成17年11月期
区分	金額	金額
(資本剰余金の部)		
I 資本剰余金期首残高	207,200	207,200
II 資本剰余金第3四半期連結 会計期間末(期末)残高	207,200	207,200
(利益剰余金の部)		
I 利益剰余金期首残高	85,959	85,959
II 利益剰余金増加高		
1 第3四半期(当期)純利益	53,023	104,397
III 利益剰余金減少高		
1 配当金	14,148	14,148
IV 利益剰余金第1四半期連結 会計期間末(期末)残高	124,835	176,209

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結株主資本等計算書

当四半期（平成18年11月期第3四半期）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成17年11月30日残高（千円）	393,000	207,200	176,209	776,409
当四半期の変動額				
新株の発行	191,730	258,471	-	450,201
剰余金の配当	-	-	△20,043	△20,043
四半期純利益	-	-	72,092	72,092
少数株主利益	-	-	-	-
当四半期の変動額合計（千円）	191,730	258,471	52,049	502,251
平成18年8月31日残高（千円）	584,730	465,671	228,259	1,278,660

	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
平成17年11月30日残高（千円）	417	2,432	779,260
当四半期の変動額			
新株の発行	△367	-	449,833
剰余金の配当	-	-	△20,043
四半期純利益	-	-	72,092
少数株主利益	-	469	469
当四半期の変動額合計（千円）	△367	469	502,353
平成18年8月31日残高（千円）	50	2,902	1,281,613

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円、%)

	当四半期 (平成18年11月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年11月期 第3四半期)	(参考) 平成17年11月期
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前第3四半期(当期)純利益	120,703	89,976	172,424
2 減価償却費	21,167	20,093	27,958
3 貸倒引当金の増減額	△438	330	△2,558
4 賞与引当金の増加額	5,940	9,319	5,585
5 受取利息	△272	△248	△435
6 支払利息	662	744	1,056
7 持分法による投資利益	△13,464	△14,457	△19,588
8 固定資産除却損	1,714	1,574	1,613
9 売上債権の増加額	△47,156	△35,852	△18,672
10 たな卸資産の増減額	△160	633	1,570
11 仕入債務の増減額	7,002	3,067	△239
12 未払費用の増減額	△35,495	△10,902	17,668
13 その他	△34,452	△23,545	7,411
小計	25,749	40,731	193,794
14 利息の受取額	272	248	435
15 利息の支払額	△671	△810	△1,086
16 法人税等の支払額	△84,598	△50,790	△50,790
営業活動によるキャッシュ・フロー	△59,247	△10,619	142,353
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 有形固定資産の取得による支出	△19,509	△8,310	△9,237
2 無形固定資産の取得による支出	△3,302	△14,454	△16,168
3 貸付金の回収による収入	8,000	4,000	8,000
4 敷金保証金の差入による支出	△29,673	△13,686	△10,955
5 その他	2,471	6,572	6,797
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,013	△25,877	△21,563
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入金の純増減額	-	70,000	-
2 株式の発行による収入	449,833	-	-
3 配当金の支払額	△20,043	△14,148	△14,148
4 子会社の増資による収入	-	-	1,860
財務活動によるキャッシュ・フロー	429,790	55,852	△12,288
IV 現金及び現金同等物の増加額	328,529	19,354	108,501
V 現金及び現金同等物の期首残高	484,893	376,391	376,391
VI 現金及び現金同等物の第3四半期 連結会計期間末(期末)残高	813,423	395,746	484,893

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

<p>1 連結の範囲に関する事項</p>	<p>連結子会社の数 3社 すべての子会社を連結しております。 連結子会社の名称 (株)エスプール・マーケティング、(株)パスカル及び(株)エスプール総合研究所 なお、(株)エスプール総合研究所は、平成18年4月に会社分割により設立した子会社であります。</p>				
<p>2 持分法の適用に関する事項</p>	<p>持分法を適用した関連会社数 1社 すべての関連会社に持分法を適用しております。 関連会社の名称 (株)ケータイソリューション</p>				
<p>3 連結子会社の四半期決算日に関する事項</p>	<p>連結子会社のうち、第3四半期決算日が第3四半期連結決算日と異なる会社は次のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="624 658 999 757"> <thead> <tr> <th>会社名</th> <th>第3四半期 決算日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(株)パスカル</td> <td>3月31日</td> </tr> </tbody> </table> <p>連結財務諸表の作成については、第3四半期連結決算日現在で本決算に準じた仮決算を行った財務諸表を基礎としております。</p>	会社名	第3四半期 決算日	(株)パスカル	3月31日
会社名	第3四半期 決算日				
(株)パスカル	3月31日				
<p>4 会計処理基準に関する事項</p>	<p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法 たな卸資産 仕掛品 個別法による原価法によっております。</p> <p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法 ①有形固定資産 定率法によっております。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。 建物 10年～15年 その他 3年～10年 ②無形固定資産 ソフトウェア 社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準 ①貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。 ②賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当第3四半期連結会計期間の負担額を計上しております。</p> <p>(4) その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項 ①消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。 ②法人税、住民税及び事業税の会計処理 法人税、住民税及び事業税は、税金等調整前第3四半期純利益に年間予想税金負担率を乗じて計算しております。</p>				
<p>5 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲</p>	<p>四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。</p>				

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

(固定資産の減損に係る会計基準)

当第3四半期連結会計期間より、「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

(純資産の部の表示)

当第3四半期連結会計期間より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第8号)を適用しております。なお、当第3四半期末における従来の表示による資本の部の合計に相当する金額は1,278,660千円であります。

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当四半期（平成18年11月期第3四半期）

	総合人材アウトソーシング事業 (千円)	モバイル・マーケティング事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,253,849	182,459	199,115	3,635,425	-	3,635,425
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,749	-	4,000	5,749	(5,749)	-
計	3,255,598	182,459	203,115	3,641,174	(5,749)	3,635,425
営業費用	2,947,044	155,492	160,207	3,262,744	237,182	3,499,926
営業利益	308,554	26,966	42,908	378,430	(242,931)	135,498

- (注) 1. 事業の区分は、役務の種類・性質を考慮して区分しております。
2. 各区分の主な業務
(1) 総合人材アウトソーシング事業……人材派遣、業務請負
(2) モバイル・マーケティング事業……市場調査、販促企画
(3) その他事業……コンサルティング、教育研修、人材紹介
3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用237,182千円の主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。

前年同四半期（平成17年11月期第3四半期）

	総合人材アウトソーシング事業 (千円)	モバイル・マーケティング事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,933,740	148,797	390,112	3,472,650	-	3,472,650
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,714	-	-	2,714	(2,714)	-
計	2,936,454	148,797	390,112	3,475,364	(2,714)	3,472,650
営業費用	2,685,551	127,339	366,953	3,179,844	214,577	3,394,421
営業利益	250,903	21,457	23,159	295,520	(217,291)	78,229

- (注) 1. 事業の区分は、役務の種類・性質を考慮して区分しております。
4. 各区分の主な業務
(1) 総合人材アウトソーシング事業……人材派遣、業務請負
(2) モバイル・マーケティング事業……市場調査、販促企画
(3) その他事業……コンサルティング、教育研修、人材紹介
5. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用217,291千円の主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。

前期（平成17年11月期）

	総合人材アウトソーシング事業 (千円)	モバイル・マーケティング事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,040,762	191,715	518,684	4,751,162	-	4,751,162
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,081	-	-	3,081	(3,081)	-
計	4,043,844	191,715	518,684	4,754,244	(3,081)	4,751,162
営業費用	3,677,233	165,437	460,326	4,302,996	291,988	4,594,985
営業利益	366,611	26,277	58,358	451,247	(295,070)	156,177

- (注) 1. 事業の区分は、役務の種類・性質を考慮して区分しております。
 2. 各区分の主な業務
 (1) 総合人材アウトソーシング事業……人材派遣、業務請負
 (2) モバイル・マーケティング事業……市場調査、販促企画
 (3) その他事業……コンサルティング、教育研修、人材紹介
 3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用295,074千円の主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。

【所在地別セグメント情報】

当四半期（平成18年11月期第3四半期）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

前年同四半期（平成17年11月期第3四半期）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

前期（平成17年11月期）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

当四半期（平成18年11月期第3四半期）

海外売上高がないため該当事項はありません。

前年同四半期（平成17年11月期第3四半期）

海外売上高がないため該当事項はありません。

前期（平成17年11月期）

海外売上高がないため該当事項はありません。

【四半期財務諸表等】

四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年11月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年11月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年11月期
	金額	金額	金額	増減	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	738,656	345,099	393,556	114.0	423,865
2 売掛金	460,653	498,830	△38,176	△7.7	493,481
3 その他	89,624	61,154	28,469	46.6	65,627
4 貸倒引当金	△2,230	△5,985	3,755	△62.7	△3,165
流動資産合計	1,286,703	899,098	387,605	43.1	979,809
II 固定資産					
1 有形固定資産	40,125	31,532	8,593	27.3	28,489
2 無形固定資産					
(1) ソフトウェア	57,938	72,667	△14,728	△20.3	67,850
(2) その他	257	257	-	-	257
無形固定資産合計	58,195	72,924	△14,728	△20.2	68,107
3 投資その他の資産					
(1) 敷金及び保証金	104,855	77,560	27,294	35.2	77,416
(2) その他	85,565	71,741	13,823	19.3	66,521
投資その他の資産合計	190,420	149,301	41,118	27.5	143,938
固定資産合計	288,742	253,759	34,982	13.8	240,536
資産合計	1,575,445	1,152,857	422,587	36.7	1,220,345

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年11月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年11月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年11月期
	金額	金額	金額	増減	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金	3,644	1,561	2,082	133.4	5,466
2 短期借入金	60,000	130,000	△70,000	△53.9	60,000
3 未払費用	169,339	176,809	△7,470	△4.2	204,719
4 賞与引当金	16,742	14,537	2,205	15.2	10,945
5 その他	105,976	123,749	△17,772	△14.4	188,780
流動負債合計	355,703	446,658	△90,955	△20.4	469,912
負債合計	355,703	446,658	△90,955	△20.4	469,912
(資本の部)					
I 資本金	-	393,000	-	-	393,000
II 資本剰余金					
1 資本準備金	-	207,200	-	-	207,200
資本剰余金合計	-	207,200	-	-	207,200
III 利益剰余金					
1 第3四半期(当期) 未処分利益	-	105,999	-	-	150,233
利益剰余金合計	-	105,999	-	-	150,233
資本合計	-	706,199	-	-	750,433
負債及び資本合計	-	1,152,857	-	-	1,220,345
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	584,730				
資本剰余金	465,671				
利益剰余金	169,291				
株主資本合計	1,219,692				
II 新株予約権	50				
純資産合計	1,219,742				
負債及び純資産合計	1,575,445				

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年11月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年11月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成17年11月期
	金額	金額	金額	増減	金額
I 売上高	3,393,499	3,332,342	61,156	1.8	4,570,197
II 売上原価	2,468,287	2,476,444	△8,157	△0.3	3,393,879
売上総利益	925,212	855,897	69,314	8.1	1,176,317
III 販売費及び一般管理費	826,868	794,576	32,291	4.1	1,040,656
営業利益	98,343	61,321	37,022	60.4	135,661
IV 営業外収益	742	707	34	4.9	912
V 営業外費用	27,726	1,846	25,879	1,401.2	4,558
経常利益	71,360	60,182	11,178	18.6	132,014
VI 特別利益	935	-	935	-	2,562
VII 特別損失	-	1,574	△1,574	-	1,613
税引前第3四半期(当期) 純利益	72,295	58,607	13,687	23.4	132,964
税金費用	33,194	29,422	3,772	12.8	59,544
第3四半期(当期)純利益	39,100	29,185	9,915	34.0	73,419
前期繰越利益	-	76,813	-	-	76,813
第3四半期(当期) 未処分利益	-	105,999	-	-	150,233

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期株主資本等計算書

当四半期（平成18年11月期第3四半期）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成17年11月30日残高（千円）	393,000	207,200	150,233	750,433
当四半期の変動額				
新株の発行	191,730	258,471	-	450,201
剰余金の配当	-	-	△20,043	△20,043
四半期純利益	-	-	39,100	39,100
当四半期の変動額合計（千円）	191,730	258,471	19,057	469,259
平成18年8月31日残高（千円）	584,730	465,671	169,291	1,219,692

	新株予約権	純資産合計
平成17年11月30日残高（千円）	417	750,850
当四半期の変動額		
新株の発行	△367	449,833
剰余金の配当	-	△20,043
四半期純利益	-	39,100
当四半期の変動額合計（千円）	△367	468,891
平成18年8月31日残高（千円）	50	1,219,742

四半期財務諸表作成の基本となる重要な事項

1 資産の評価基準及び評価方法	有価証券 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法によっております。
2 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 定率法によっております。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。 建物 10年～15年 その他 3年～10年 (2) 無形固定資産 ソフトウェア 社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
3 繰延資産の処理方法	新株発行費 支出時に全額費用として処理しております。
4 引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。 (2) 賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当第3四半期会計期間の負担額を計上しております。
5 その他四半期財務諸表作成のための重要な事項	(1) 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。 (2) 法人税、住民税及び事業税の会計処理 法人税、住民税及び事業税は、税引前第3四半期純利益に年間予想税金負担率を乗じて計算しております。

四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

<p>(固定資産の減損に係る会計基準)</p> <p>当第3四半期会計期間より、「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。</p> <p>(純資産の部の表示)</p> <p>当第3四半期会計期間より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第8号)を適用しております。なお、当第3四半期末における従来の表示による資本の部の合計に相当する金額は1,219,692千円であります。</p>
